

Webマイニングを用いた 文章中の行為者及び被行為者の感情推定

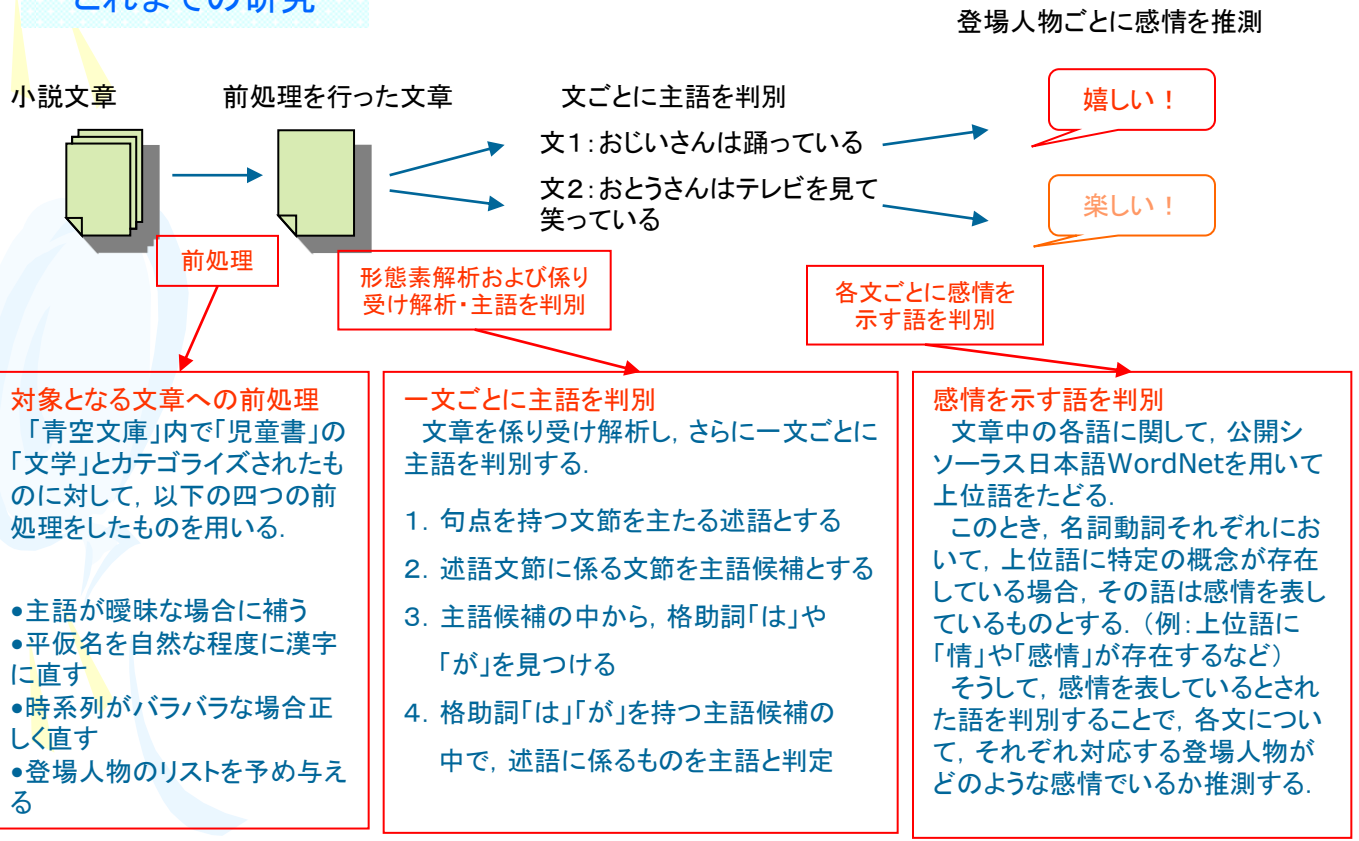
研究背景と目的

近年の、コンピュータの能力の進化や応用の拡大に伴い、人とコンピュータをつなぐインタフェースも、より高度なものや扱いやすいものなど、幅広く求められるようになってきている。

そのインタフェースの多機能化の方向の一つとして、人間の感情の情報を利用しようというものがある。コンピュータによる人間の感情情報の読み取りや、コンピュータからの感情情報の発露など、感情の情報にはさまざまな利用法が考えられる。

本手法では、文章とその受信者の感情に焦点を当てる。具体的には、小説文章からの感情移入などを想定する。小説文章に人間がどのように感情移入し、自身の感情へと反映させるかを推測するため、その前段階として、文章表現が単純で易しめな類の文章を童話文と定義し、それら童話文での登場人物の感情を推測する。

これまでの研究



提案手法

文章中の登場人物の感情推定をより効率よく行うための手段の一つとして、ある動詞一つから、その行為者のみならず被行為者の感情も推定するという手法を提案したい。



ML-Ask

近現代の作家の文章表現を「喜・怒・哀・怖・恥・好・厭・昂・安・驚」の10種類の感情に分類した『感情表現辞典』を利用して、これら10種の感情についての表現集としてまとめたデータベースであり、各感情についての語彙や表現が記述されている。

『感情表現辞典』そのものが日本語の言語表現を基にしたものであり、このデータベースもそれを志向している。